

トヨコ通信

2015年2月号

ホームページ...<http://www.sasada-toyoko.jp/>
E-メールsanbal@sasada-toyoko.jp

発行 : 日本共産党大垣市後援会
発行日 : 2015年2月1日 第153号
連絡先 : 大垣市室本町5-8
Tel 78-6865 Fax 73-8572

部
内
資
料

<笹田区域>
興文中・西中・西部中(宇留生小を除く)
上石津全域



共産党・県議選

松岡唯史氏(38歳)を擁立

日本共産党西濃地区委員会は15日、4月に行われる岐阜県議選の大垣・神戸選挙区に松岡唯史(ただし)氏を擁立し、「2つの審判と5つの実現」を発表しました。



松岡唯史(ただし)氏の経歴
1976年生まれ(38歳)
海津町立高須小、日新中、大垣北高、金沢大学経済学部卒。愛知県信用保証協会などを経て、2014年4月より日本共産党西濃地区委員会勤務員。現在、党西濃地区県政対策委員長。

「2つの審判と5つの実現」

2つの審判

- (1) 大型事業優先、くらし犠牲の自民党直結「オール与党」県政に審判を
- (2) 消費税増税、戦争する国づくり、原発再稼働など安倍政権の暴走に追随する県政に審判を

5つの実現

- (1) 大型事業優先でなく、県民福祉、教育、くらし優先の県政を
子どもの医療費助成拡大、国保料、介護保険料の軽減、少人数学級拡大でゆき届いた教育推進等
- (2) 仕事を増やし地域が元気になる支援を
住宅リフォーム助成、TPPに反対し農業の自主再建を
- (3) 若者が安心して働ける雇用創出環境を
ブラック企業、ブラックバイトの根絶
非正規労働者への均等待遇で賃上げと労働条件改善
- (4) ムダ使いの見直し、住みよい地域づくりへ
リニア、ダム建設など見直し、予算は福祉と暮らしへ
100万円の議員の海外視察は廃止
荒崎地域の水害対策の一層の強化
上石津・関ヶ原山麓の風雨力発電は環境、健康面から見直しを
- (5) 国の悪政の防波堤として平和と暮らしを守る

グリーン車料金返還訴訟

「利用しないグリーン車料金の支出は違法」

8日、グリーン車料金変換訴訟で判決があり、返還請求は棄却されましたが、判決の付言で、「公務に要する費用は実費に寄るべし」とし、「事前にグリーン車に乗らないと主張している議員のグリーン車料金にまで支出するのは違法である」と指摘し、原告の主張は認められました。今後は、判決に主旨に沿って、条例の運用など議会内での議論が求められています。

市長に要望書提出

21日、原告団及び議会改革議員グループで大垣市長に対して、要望書を提出

しました。

現在、市議会議員6名が法務局に供託している平成25年度及び平成26年度に支給されているグリーン車両料金を大垣市は受け取ること。

裁判所の勧告に従い『議員報酬費用弁償等に関する条例』及び『大垣市職員の旅費に関する条例』の改正案(特別車両を利用しない旨の申し出をした議員らに対して特別車両料金を支給しない)を3月議会において提案すること。

行政視察にグリーン車は必要か?

現在グリーン車に乗る議員と乗らない議員に別れて視察が行われています。長年グリーン車を利用せずとも、支障なく視察が行われてきた経緯から見ても、果たしてグリーン車に乗ることが妥当なのか市民の判断も求められるのではないのでしょうか。



(写真) 判決の翌朝、原告・弁護団・議会改革グループ議員で、大垣市役所前で判決内容を知らせる宣伝行動を行いました。

通学路あぶない！



静里町にお住まいのNさんに案内されて、自転車通行の危険箇所について調査しました。日頃、自動車で移動している者にとっては気づかない危険な箇所が、幾つかありました。写真はしずさと診療所の西側にある道路と水路です。この道路は、中学生や高校生の通学路になっており、道路幅が狭く自転車と自動車のすれ違いが難しい状態です。過去に自転車通行者が西側の水路に転落した事故が起きているとのこと。水路の深さは1メートルはあるようで、落ちると一人でははい上がれない状態。Nさんの話では、途中まで柵が設けられているので、これを通学路全体に設置して欲しいということでした。

国民の立場で真実を伝え続けるしんぶん赤旗をお読みください。
日刊紙... 3497円
日曜版... 823円

安倍政権の15年度予算案 膨らむ軍事、縮む社会保障

社会保障	社会保障費の「自然増」を1700億円削減。年金実質減額。高齢者医療の窓口負担増。介護保険の利用料引き上げ、介護報酬2.27%引き下げ。生活保護の扶助費引き下げ。国費で330億円減額。
教育	教職員数を少子化に伴う「自然減」の除き約100人削減。
大企業公共事業	法人実効税率を数年間で20%台に引き下げるため、15年度2.51%引き下げ。
軍事費	史上最高の4.98兆円、オスプレイ5機、水陸両用車30両購入。沖縄米軍新基地建設工事費を前年度比80倍以上(契約ベース)。
原発	再稼働に向け「新規則基準」への対応など102億円。核燃サイクルなど398億円。原発輸出に向け原子力海外建設人材育成委託費4.3億円。

安倍政権の2015年度予算案をみると、軍事費は過去最大の4.98兆円に膨張し、「戦争する国」へ軍拡加速しています。また、武器や原発を海外に売り込む「トップセールスの戦略的活用」を掲げ19億円増額。一方で、「社会保障のため」と消費税を8%増税したのに、社会保障費は手当たりしだいに切り下げられています。

「戦争する国」づくりと社会保障破壊は表裏一体。15年度予算案は命を削る「安倍色」が露骨に現れています。



冬のターシャの家。手前はオリーブの木、よく育っているの、今年は収穫できるか楽しみです。(舟子)

いっせい地方選勝利をめざす
新春のつどい

第一部 もとむら伸子衆議院議員 講演
第二部 地方選挙予定候補者紹介

2月8日(日)午後1時より
大垣市総合福祉会館ホール

主催 日本共産党西濃地区委員会
共催 日本共産党岐阜2区後援会

笹田トヨ子ホームページで過去の「トヨ子通信」(カラー版)を読むことができます。スマホでも見れます。「笹田トヨ子」で検索してください。

市民の声・声・声

庁舎建設・・・「人口減少時代に庁舎建設は無駄ではないか。何とか住民投票ができないものか」

養老鉄道・・・「経営に危機感がない。樽見鉄道のように車両に広告をのせるとか、1両の車両にするとか工夫をするべき」

学校・・・「学校にクーラーが設置されることになったが、一方で予算が削られ今まで行なってきた文化祭行事ができなくなった」

こどもサイエンスプラザ・・・「こどもサイエンスプラザは市外や県外からの集客力は一番多いのではないかと。しかし、展示物が古くなり科学の進歩についていけない。リニューアルはいつ行われるのか？」

平成23年3月に決まった「大垣市文化振興計画」では、「スイトピアセンターこどもサイエンスプラザ、水のパビリオンの改修」とリニューアルの事業が新規事業として盛り込まれていました。しかし、この4年間この事業は実施されず今に至っています。26年度12月議会で第2次文化振興計画(案)の概要が出されましたが、こどもサイエンスプラザのリニューアルは盛り込まれていません。あの計画はなんだったのか？